

子供宝也

No.26

平成 24 年 10 月 25 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

アウトリーチ

「アウトリーチ」って聞き慣れない言葉でしょう。これは、公益財団法人 尼崎市総合文化センターが企画している事業で、簡単に言うと『本物の音楽』をプロの音楽家が運んでくる出前コンサートといったところです。6年生を対象として18日(木)と22日(火)の2回、クラス単位で合計4つの公演をしていただきました。

22日は、チェロとピアノのアンサンブルでした。素晴らしい演奏に子どもたちはみんな聴き入っていました。「今から演奏する曲からどんな動物を頭に描きますか?あとで教えてください。」と言って、サンサーンスの「動物の謝肉祭」を演奏してくださいました。演奏が終わって「どうですか?」とたずねられた子どもたち。素晴らしい感性でピタピタ当てていくのです。常務理事の方とお話しをしましたが、「子どもは本当に素晴らしい。」と感心しておられました。

最後は、子どもたちと一緒に演奏です。外は秋晴れの日。すてきなミニコンサートでした。

ドンカカ ワッショイ ドコドン (ウ) ドドン

音楽室が何やら盛り上がっているのです。**2年1組**の子どもたちが太鼓に挑戦でした。とにかくものすごく楽しそうです。休むところが難しくて、ついたたいてしまいます。でも、みんなで協力し合ってまとめていきます。先生も必死です。だんだんできてきました。周りを見ると、床を一生懸命たたいている子や何やらメモを夢中でとっている子や…学習によく集中していました。

リズムだけではありません。音の大きさをたたく強さだけでなく、男女に分けたり、人数をだんだん増やしたりと自分たちでよく考えて、いろいろな工夫をしていました。

子どもは本当に素晴らしいです。外は雨ですが、すてきな秋祭りでした。

2年生の保護者のみなさまへ

大丈夫です。ご安心ください。

タコやサメだけにはならない感じです。いろんなクラスをのぞくとカニ、クラゲ、いるか、エイ・・・ハモ、リュウグウノツカイなんてのもあって、楽しそうでしたよ。

「これは何?」ってたずねると「まだわからへん。」とのこと。いろいろやっていると決まってくるのだそうです。

子どもは本当に素晴らしいです。外は曇りですが、心は晴れのひとときでした。

やまなし

6年2組が国語の授業でした、教科書がかわって2年目。新しい教科書のなかで難しい、難しいと言われている「やまなし」という教材です。一度、保護者の皆様も読んでいただけたらと思います。

「だれも発表なんかせえへんやろなあ。」と思っていました。しかし、子どもたちに失礼な思い込みでした。よく発表していました。物語に出てくる谷川の水の様子や色に着目して、情景のイメージをふくらませていました。ひよっとすると我々大人が難しく考えすぎているのかもしれない。

子どもは本当に素晴らしいです。外は小雨でしたが、このあとの晴れを予感させてくれました。